

No.236

おおの

2026. 8 .25

議会だより

今回の定例会

3月

7月

9月

12月



北陸モンベル大野物流センター 新倉庫 披露会（8月6日）

- P 2・3 7月定例会の概要
- P 4～8 一般質問の概要
- P 9 交流事業・議会改革
- P 10 予算特別委員会報告
- P 11・12 常任委員会審査報告
- P 13 特別委員会報告
- P 14 議案等の各議員表決

バックナンバーと音声データ
あります

おおのぎかいだより



 /@OnoCityCouncil
大野市議会チャンネル/
登録お願いします



7月 定例会の概要

第450回定例会が7月17日から8月10日までの25日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、令和8年度の一般会計補正予算、条例の改正、契約の締結など全12議案について審議しました。

審議結果は、14分の10のとおりです。

新議員に須原氏

令和8年6月14日執行の大野市議会議員補欠選挙において、新議員に須原祥量（すはら よしかず）氏が当選しました。

定例会初日に議席の変更と指定を行い、須原議員をくらし産業常任委員会委員と、こども政策・公共施設等改革特別委員会委員に選任しました。

また堀田昭一議員と伊東由起恵議員を議会運営委員会委員に選任し、白崎貴之総文厚生常任委員長の辞任に伴い、委員長互選の結果、木戸屋八代実議員が委員長に選任されました。



須原祥量 議員
(1期目、65歳)

条例の改正

大野市地下水保全条例の一部を改正する条例案

可決

地下水採取の届出事項に、届出者の国籍や法人の場合は代表者の氏名及び国籍等を追加する改正を行いました。

大野市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案

可決

国の事務処理要領の改正及び関係法令の施行に伴い、所要の改正を行いました。

大野市営住宅条例の一部を改正する条例案

可決

大野市営住宅西里団地の用途を廃止する改正を行いました。

その他議案

公共施設ＬＥＤ照明導入業務契約の締結について

可決

市有施設11施設にＬＥＤ照明を導入するため、株式会社NEXYZ.（東京都渋谷区）との所有権移転付き賃貸借契約の締結を認めました。

大野市中学校タブレット端末購入業務契約の締結について

可決

市内2中学校のタブレット端末の更新を行うため、三谷商事株式会社（福井市）と購入業務契約の締結を認めました。

令和7年度政務活動費収支報告書

議会改革の一環として、各議員の政務活動費の収支額に加え、政務活動費収支報告書（添付資料を除く）をホームページで公開しています。

なお、収支報告書に添付される資料は閲覧ができますので、ご覧になりたい方は議会事務局までお越しください。

（閲覧できる方：市内にご住所のある方、市内に事務所又は事業所を有する個人又は法人）



公開ページ

個人情報の開示

令和7年度の実施状況

大野市議会個人情報の保護に関する条例では、市議会が保有する個人情報のうち、請求者本人の個人情報を開示請求できると定めています。令和7年度の開示請求は0件でした。

補正予算の 議案



可決

議案第34号 令和8年度大野市一般会計補正予算(第3号)案

補正前の予算額 198億5,656万円 → 補正額(増額) 8億9,327万円 → 補正後の予算額 207億4,983万円

補正のあった主な内容	補正額	補正のあった主な内容	補正額
【大学連携推進事業】 大学と連携し、学生とともに地域課題解決プロジェクトを実施する(国のモデル事業採択)	500万円	【旧宝慶寺いこいの森施設解体事業】 旧宝慶寺いこいの森施設の解体を行う	9,680万円
【市税還付金】 過年度の固定資産税・都市計画税の還付金等を増額する	2,833万円	【中小企業者等省エネ設備導入支援事業】 市内事業者が行う省エネ設備の導入に対し補助する	768万円
【高齢者・障がい者エアコン購入費助成事業】 高齢者・障がい者世帯に対し、エアコンの購入及び設置に要する費用を助成する	501万円	【おおのでお買い物商品券発行事業】 市民1人当たり5千円の購入で1万円分のお買い物ができるプレミアム付き商品券を発行する	1億6,334万円
【結婚世帯応援事業】 新婚世帯を対象とした家賃や引越費用等の補助について、所得要件を撤廃する	210万円	【中小企業者等中東情勢対応支援金】 中東情勢の影響を受け、県経営安定資金の融資を受けた中小企業者等に対し、支援金を交付する	1,530万円
【酒造好適米の安定生産支援事業補助】 酒造好適米の生産者に対し、生産性向上技術の導入費用を補助する	431万円	【放課後の居場所整備事業】 旧阪谷及び小山小学校の校舎一部と体育館を放課後子ども教室等に利用するために必要な改修工事を行う	2,379万円
【農業生産費高騰対策支援事業補助】 農業用資材の高騰の影響を受けている生産者に対し、作付面積に応じた支援金を交付する	3,516万円	【旧文化会館解体事業】 旧文化会館の解体を行う	3億1,855万円

スポーツ施設の改善を要望!

6月26日に、市議会は市長に対し、「スポーツ活動を行う公共施設の改善についての要望書」を提出し、市内のスポーツ環境の改善を求めました。

この要望書は、令和8年2月に市内の公共施設(体育施設・文化施設)を利用している団体を対象に実施したアンケート調査の結果を基に作成したものです。調査では、施設の老朽化や設備不足、近年の猛暑による熱中症対策など、利用者の安全確保や施設環境の改善を求める要望が多く寄せられました。

要望書では、体育館やエキサイト広場への空調設備の導入・修繕、屋外施設への日よけ設備の設置などの熱中症対策をはじめ、体育館の床や照明設備の改善など、安全性の向上につながる施設整備について早急な対応を求めました。

また、競技用備品の更新や補充、コートラインの補修、予約システムの改善や団体間の利用調整の強化など、施設利用者の利便性向上につながる環境整備についても計画的な対応を要望しました。



市議会HP
要望書ページ

要望書の内容を踏まえた予算が
7月補正予算に計上され、可決しました。

エキサイト広場総合体育施設等改修事業 3,407万円

- ・小アリーナの空調設備整備費用
- ・柔道場、剣道場、相撲場の空調設備の次年度導入に向けた実施設計費用





動画でチェック



《質問項目》

- ①中東情勢による市民生活および地域経済への影響と対応について
- ②障がいのある子どもと家族を支える支援体制について

いとう ゆきえ

伊東 由起恵議員

市政会

中東情勢による市民生活や事業者への影響

問 中東情勢による影響は。

答 市内事業者へのアンケート調査では、建設業、製造業、サービス業の順で、マイナスの影響が出ている。

問 市の推奨ごみ袋に対する影響は。

答 市内全体としては、一定の在庫が確保されており、ごみ袋の流通は維持されている。

障がいのある子どもと家族への支援体制

問 放課後等デイサービスの課題は。

答 相談支援専門員の確保や安定的なサービス提供体制の確保が課題となっている。

問 市の判断で、日中一時支援事業の見直しを検討する考えは。

答 計画も含めて、支援体制自体を検討する。



動画でチェック



《質問項目》

- ①市長三期目における政治姿勢と市政運営について

うめばやし あつこ

梅林 厚子議員

もえぎ会

持続可能な財政運営にどのように取り組むか

問 市長の考える財政の持続可能性とは。

答 社会経済情勢の変化に対応しながら、市民生活に必要な行政サービスを将来にわたって安定的に提供するとともに、将来世代に過度な財政負担を残さない、健全な財政運営を継続していくこと。

問 市長就任三期目、4年間の財政の持続可能性に向けてどのように取り組むか。

答 令和4年度決算以降、2年連続で改善している。

令和7年度決算では、経常収支比率が、94.0%から93.1%へ0.9ポイント改善する見込み。

事業の優先順位を見極め、内容を精査し、効果的な事業の推進に努める。

将来負担の軽減と財政基盤の強化を図る。

市民サービスの維持・向上を図り、人口減少時代に対応した持続可能な財政基盤の確立に努め、市民の誰もが安心してイキイキと暮らせるまちづくりを進めていく。

《質問項目》

- ①市長の政治姿勢について
- ②市長選挙の投票率について



<< 動画でチェック

やまざき としあき

山崎 利昭議員

清風会



市長選の投票率について

問

今回の投票率の61.01%をどう捉えているか。

答

大野市長選に向けて、若年層に選挙を身近に感じていただくことを目的に、実際の投票の流れを紹介した動画や、不在者投票に関する動画を作成した。

これらの動画は、市公式YouTubeチャンネルで配信するとともに、市ホームページ

や市公式LINEにおいても動画の紹介をしている。

また19歳の方に対するダイレクトメールや、市内高校へ配布した啓発チラシに2次元コードを掲載し、周知啓発に努めた。

期日前投票数の割合は58.08%で、前回の太田市長選挙と比較して、19.92ポイント上昇した。

《質問項目》

- ①地域経済の活性化と産業の振興について
- ②旧文化会館解体後について
- ③自治体経営について



<< 動画でチェック

きしもと かずとし

岸本 一敏議員

大野市民の会



地域経済の活性化と産業振興について

問

民間企業とどのように関わり、地域経済を活性化していくのか。

答

地域経済の担い手は民間事業者であり、市は地域振興の方向性を示すとともに、意欲ある事業者への支援を進める。

企業の設備投資や事業拡大、創業、事業継承などの支援を行い、経営力向上や人材確保を後押しする。

旧文化会館解体後について

問

跡地活用のスケジュールは。

答

公募型プロポーザルにより事業者を選定し、8月中旬をめどに優先交渉権者を決定する。

令和9年1月下旬に事業計画を承認し、同年3月下旬の跡地引き渡しを予定している。市として適切な事業者の選定に努める。



動画でチェック



《質問項目》
①市長の公約について

いのしま きよふみ

猪嶋 清文議員

大野市民の会

六呂師高原について

問 六呂師高原の現状と今後の推進は。

答 キャンプ場ソラトダイチの利用者は、初年度約2,600人であった。

クマ騒動や天候の影響もあり目標6,000人に未達。市は誘客策としてクーポン配布やうらら館との連携を実施している。

今後は県自然保護センターの改修を県へ要望し、エリア全体の魅力向上を図る。

職員の意欲向上について

問 挑戦を続ける意欲を持つ職員の育成と、働き方改革オフィスの形成とは。

答 職員が主体的に施策立案できる制度を新たに構築予定である。

またハラスメント防止条例やカスタマーハラスメント方針を策定し、安心して働ける環境づくりを進める。



動画でチェック



《質問項目》
①上水道・簡易水道・地下水等の水質検査、上下水道料金について
②地域クラブ活動への展開について
③子どもの夏休みの居場所について

のむら まさと

野村 勝人議員

無会派

地区営簡易水道のPFAS水質検査について

問 市内地区営簡易水道全25事業者がPFAS（有機フッ素化合物）の水質検査を行ってなかったとの報道で、市民から驚きの声が上がっている。

水質検査体制はどのようになっているのか。

答 指導や立入検査は県が実施している。
市には、地区営簡易水道に対する指導などの権限はないが、水質検査費用の一部を補助している。

問 検査費用の補助額引き上げが必要である。

答 当面の間、補助率3分の1を維持したい。

上下水道料金の引き下げについて

問 本市の上水道料金は県内で一番高い、下水道料金の高さも上位であり、引き下げが必要である。

答 現時点で料金の引き下げは難しい。

《質問項目》

- ①小中学校再編後の学校施設の再利用について
②大野への観光客に対する対応と地域経済への影響について



《動画でチェック》

ひろせ こうじ

廣瀬 浩司議員

市政会



旧尚徳中・旧上庄中の学校施設の再利用

問

旧尚徳中・旧上庄中の学校施設の再利用は、現在、どの程度まで進んでいるのか。

答

旧尚徳中学校の老朽化が進んでいる校舎は、令和9年度に解体工事を行う予定としている。体育館は、グラウンドと併せて、当面の間、社会体育施設として利用していく。

旧上庄中学校は、校舎、体育館とグラウ

ンドを含む施設全体について、民間事業者による利活用を図るため、公募型プロポーザル方式により提案を広く募集することとし、本年6月29日に募集要項を公表した。

現地見学会と質問書の受け付けは7月22日に終了しており、今後、8月31日から9月7日までを応募登録申請の受付期間としている。

《質問項目》

- ①市民協働による住民自治の促進について
②若者に選ばれるまちづくりについて



《動画でチェック》

ささやま あきかず

笹山 晃一議員

大野市民の会



行政も地域とともに住民自治を

問

市はどのように地域を後押しするのか。

答

住民自治は住民が主体となって取り組む活動である。市は公民館に配置した職員が地区と行政の橋渡し役となり、地域課題を共有しながら取り組みを進める。また、地域運営組織の設立支援や交付金などを活用し、地域の実情に応じた活動を後押ししていく。

若者の所得向上を人口減少対策に位置付け

問

若者の所得向上に向けた施策はあるか。

答

総合戦略では「地域の稼ぐ力の向上」を基本目標に掲げ、企業誘致や人材確保・育成、創業支援などを進めている。これらを通じて雇用の創出と働く世代の所得向上を図り、人口減少対策として取り組んでいく。



動画でチェック



《質問項目》

- ①災害時の備蓄品について
- ②サルの頭数の管理、その他の獣害対策について
- ③道の駅「越前おおの荒島の郷」について

すはら よしかず

須原 祥量議員

清風会

サルの頭数の管理、他獣害対策

問 サルの捕獲はどのようにしているか。

答 5地区からの要請に応じ、猟友会などとサル捕獲用の大型おりを設置し、7月21日までに52頭を捕獲している。その他にも、地区住民による追い払いなどの防御対策が有効である。

市内には、10のサルの群れが確認されている。地区と行政が連携して獣害対策に、取り組む。

災害時の備蓄品

問 大野市防災倉庫内備蓄品の内容は。

答 飲料水や食料品、携帯トイレなど避難所生活に必要な物資を備蓄している。同じ物は、和泉地区にも配備している。

災害時には、防災倉庫から各地区に運搬する。

自助のために、各家庭で最低3日分の食料や生活必需品を備蓄していただくよう周知・啓発に努めている。



動画でチェック



《質問項目》

- ①市長の政治姿勢について

たかおか かずゆき

高岡 和行議員

もえぎ会

市長の政治姿勢

問 今回の選挙結果をどのように受け止めているのか。

答 持続可能な大野市づくりに全力で取り組んでいきたい。

問 人口減少・少子化対策についての見解は。

答 自然減が社会減を大きく上回っている。人口維持・増加策として子育て支援に力を入れたい。

問 多くの不祥事における市長及び管理職のガバナンスとコンプライアンスはどうなっているのか。

答 市民から信頼される組織作りと質の高い行政サービスの提供に努めていきたい。

問 行財政改革の達成はどうか。

答 公共施設の最適化を進めていく。

問 教育現場における問題行動等の改善が全くなされていない現状をどう捉えているのか。

答 おおむね横ばいで推移している。

姉妹都市議員と交流を深める

7月8日に、姉妹都市である茨城県古河市の市議会議員17人が大野市を来訪しました。

今回の来訪では、まず市役所において研修を行った後、市内の施設を視察しました。

研修では、大野市の学芸員から、古河市と大野市の歴史的なつながりなどについての講義を受けました。

その後、大野市歴史民俗資料館、おおの天空パークOSORAなどを視察し、施設担当者から展示物の内容、施設の特色などについて説明を受けました。

また、視察後には両市議会議員による懇談会を開催し、今後の交流促進に向け活発に意見交換を行いました。



議会改革に取り組んでいます！

～予算特別委員会を議場で開催～

これまで会議室で開催していた予算特別委員会を7月定例会から議場で開催することにしました。

予算議案の審査はとても重要であるため、予算特別委員会には議長を除く全議員が所属しています。

開催場所の変更は、議会活動の見える化を進め、より充実した審査を行うこと、また、市の予算成立のプロセスを市民に理解いただくことを目的としています。

議場は本会議の開催場所であるため傍聴席も広く、より多くの市民に傍聴していただけるようになりました。

また、予算特別委員会の模様を本会議と同様に動画配信できるよう検討しています。



請願書・陳情書の提出方法のお知らせ



どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。

直近の定例会で審査を希望する場合は、**定例会開会日の11日前の午後5時まで**に提出してください。その後に提出されたものは次の定例会で審査します。



詳しくは市議会ホームページを確認してください。

予算特別委員会報告

質疑

(◎山崎、○高田、議長を除く議員)

【結婚世帯応援事業】

◎委員の質問

夫婦の合計所得が500万円未満という補助の所得要件を撤廃する理由は。また、この支援拡充による補助申請の件数をどの程度見込んでいるか。

◎市の説明

本事業は、対象期間内に婚姻届を提出し受理された、夫婦とも婚姻日における年齢が39歳以下の新婚世帯を対象に、家賃や引越費用等を補助するものである。

補助の所得要件を撤廃するのは、若者の結婚を後押しし、新婚世帯の市内定住を促進するためである。この支援拡充により、補助対象として8世帯の追加を見込んでいる。



令和8年度 結婚・子育てハンドブック

【高齢者・障がい者 エアコン購入費助成事業】

◎委員の質問

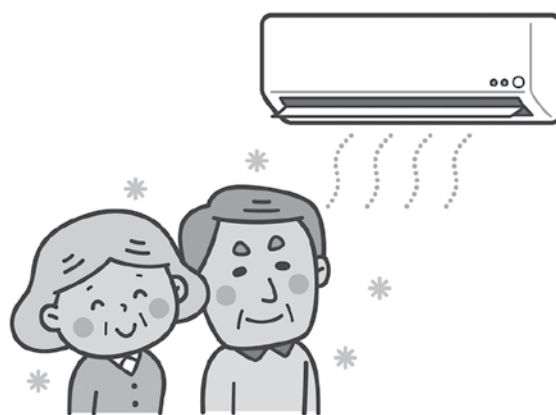
助成対象世帯は何世帯程度か。すでに設置済みのエアコンも助成の対象になるのか。

◎市の説明

本事業は、エアコンの購入及び設置に要する費用のうち上限5万円を助成するもので、助成は1世帯当たり1回のみとする。

助成対象は、「65歳以上高齢者のみで構成される世帯」、「重度障がい者がいる世帯」、「障がい者のみで構成される世帯」、「障がい者と65歳以上の高齢者のみで構成される世帯」とし、これらに該当する市内の世帯数は約4,700世帯である。

助成の対象とするエアコンは、本年4月1日から12月31日までに購入及び設置を完了したものとし、本年4月以降に購入及び設置したものであれば助成対象とする。



【ふくいの農業「女性活躍」 応援事業補助】

◎委員の質問

女性農業者の活躍をどのように期待しているか。女性農業者の課題は何か。

◎市の説明

農業分野における女性の活躍の場が広がり、女性リーダーが経営に関わることで、越前おおの産農林産物の高付加価値化や新たな特産品の創出が期待される。

女性の農業への参画・定着促進における主な課題は、スマート農業の活用による身体的負担の軽減や女性専用トイレ・更衣室などの整備、育児支援や柔軟な勤務体制の導入などの職場環境の整備であると認識している。



くらし産業常任委員会 審査報告

(◎岸本、○廣瀬、須原、帰山、伊東、野村、堀田、梅林)

【大野市地下水保全条例の一部を 改正する条例案】

◎市の説明

地下水採取者の国籍情報を把握することを求める国の通知を受け、地下水保全条例の改正を行う。地下水採取抑制地域外の水源地域については、大野市森・水保全条例の施行規則に基づく届出により国籍情報を把握できるよう対応している。

◎委員の意見

抑制地域外においても十分注意を払い、引き続き地下水保全に努められたい。



【大野市営住宅条例の一部を 改正する条例案】

◎市の説明

西里団地は全入居者の転居が完了したため廃止する。本年度に5棟のうち2棟を解体

し、残る3棟と外構については来年度以降に解体する予定である。

◎委員の質問

今後、跡地をどのようにするのか。

◎市の答弁

跡地利用については、庁内の関係部署で協議している。

【市内の火災発生状況】

◎市の説明

市内では7月末現在で7件の火災が発生しており、前年同期と比較して5件増加している。落ち葉を焼却中の延焼や電気コードのショート、揚げ物油の過熱などが原因とみられる火災が発生している。また、車両火災ではブレーキオイルのホース破損が原因とみられる出火があった。

◎委員の意見

モバイルバッテリーや空調作業服などに使用されるリチウムイオン電池による火災を防ぐため、市民への注意喚起や啓発に取り組まれたい。



行政視察レポート

くらし産業常任委員会は、5月13日から15日にかけて、群馬県前橋市、埼玉県熊谷市、長野県須坂市で行政視察を実施しました。

前橋市では、文化振興条例の制定をはじめ、市民学芸員の育成や歴史観光ガイドの活動など、市民が主体となった文化振興の取り組みについて学びました。

熊谷市では、農産物や加工品の魅力向上を支援する「ファームラボ事業」や、地域ブランド「晴れまち」の取り組みについて学ぶとともに、認定農家によるブランドとうもろこしの生産現場を視察しました。

須坂市では、インターチェンジ周辺の開発による企業誘致や雇用創出、高校・企業・市が連携した人材育成の取り組みについて視察し、地域活性化に向けた施策への理解を深めました。



ブランドとうもろこしの生産現場視察

総文厚生常任委員会 審査報告

(◎木戸屋、○笹山、猪嶋、白崎、山崎、高田、廣田、高岡)

【ハラスメント防止について】

◎市の説明

市では、ハラスメントのない職場づくりを推進するため、管理職を対象とした研修を実施し、ハラスメントに関する正しい知識の習得や適切な指導・マネジメントについて理解を深めている。

今後は全職員を対象とした研修を実施し、ハラスメントに対する正しい認識の共有を図るとともに、職員一人一人が安心して働ける職場環境の整備に取り組んでいく。

◎委員の意見

ハラスメント防止は重要である一方で、過度に意識するあまり管理職が必要な指導や注意をためらい、人材育成や業務の継承に支障が生じることを懸念する。

また、指導とハラスメントの違いについて、管理職だけでなく職員全体が正しく理解することが重要であり、適切な指導が行える職場風土づくりに努められたい。



【投票率向上に向けた取り組みについて】

◎市の説明

ショッピングモールヴィオでの期日前投票所の開設や移動期日前投票所の実施など、投票しやすい環境づくりに取り組んでいる。

ヴィオでの利用者は増加傾向にあり、期日前投票の利用も拡大している。

また、高校での期日前投票所設置は若年層への啓発につながっており、今後も継続していく。

◎委員の意見

ヴィオでの期日前投票や移動期日前投票所などの新たな取り組みが、投票率向上にどの程度効果を上げているのか検証が必要である。また、18歳をはじめとする若年層の投票率向上が課題であり、主権者教育や投票機会の確保など、引き続き若者の政治参加を促進する取り組みをされたい。



移動期日前投票所

行政視察レポート

総文厚生常任委員会は、6月30日から7月2日にかけて、広島県福山市、山口県周南市、柳井市で行政視察を実施しました。

福山市では、健康ポイント事業について研修を受け、アプリを活用した健康づくりの推進や、ランキング公表、抽選制度による参加意欲向上の取り組みについて学びました。

周南市では、過疎地域持続的発展計画について研修を受け、地域おこし協力隊を中心とした地域経営会社の設立や、高齢者生産活動センターによる地域活動など、持続可能な地域づくりの取り組みを学びました。

柳井市では、図書館を核に、市民活動支援や子育て支援、防災機能を備えた複合施設として整備された、みどりが丘図書館の運営について視察しました。図書館を中心としたにぎわいづくりや、多様な世代が交流できる居場所づくりの重要性について理解を深めました。



周南市視察研修

中部縦貫自動車道等交通対策 特別委員会報告

(◎高田、○猪嶋、帰山、白崎、山崎、梅林、高岡)

【公共交通への交通系ICカード導入要望】

◎委員の質問

公共交通の利便性向上の観点から、JR越美北線や、まちなか循環バスへの交通系ICカード機器導入はできないのか。

◎市の答弁

越美北線については、JRに導入を要望しているものの、機器設置に高額な費用を要するため、導入は困難と伺っている。また、まちなか循環バスについては、運賃を一乗車当たり100円としているなど、現状においても比較利用しやすいと考えており、導入に係る必要性や経費とのバランスを見て、判断していきたい。

◎委員の意見

越美北線への交通系ICカード機器の導入は、市内の店舗や公共交通機関などのキャッシュレス決済の普及を併せて進めることで、利便性が高まり、観光誘客にも効果が期待できることから、庁内で連携を図り、実現に向けて検討されたい。

こども政策・公共施設等改革 特別委員会報告

(◎笹山、○伊東、須原、岸本、木戸屋、廣瀬、野村)

【若者交流拡大推進チーム 結リンク「大野で永年(ええねん)界限」の取り組みについて】

◎市の説明

結リンクでは、若者自らが主体となり11月に開催予定の交流イベント「星空チルナイト おおの2026」の企画・運営を進めている。行政が目標を押し付けるのではなく、自主的な活動を支援しながら、3年程度を目安に自立した活動へつなげていきたい。

◎委員の意見

若者同士の交流や仲間づくり、人材育成など地域活性化につながる取り組みとして高く評価する。短期的な成果だけで判断せず、将来のまちづくりを担う人材育成の視点で継続的に支援されたい。



結リンク「大野で永年(ええねん)界限」メンバー



議会傍聴をお待ちしています

3階の議会事務局で受け付けをしてください。

次回、9月定例会は

9月7日(月)～30日(水)に
開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
9/6	7 本会議10:00～ (開会) ●ライブ配信	8 議案調査	9 議案調査	10 議案調査	11 議案調査	12
13	14 本会議10:00～ (一般質問) POINT ●ライブ配信	15 本会議10:00～ (一般質問) POINT ●ライブ配信	16 特別委員会 (予算) ●ライブ配信	17 常任委員会 (くらし産業)	18 常任委員会 (総文厚生)	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 委員会予備日	25 特別委員会 (中部縦貫自動車道 等交通対策) (こども政策・ 公共施設等改革)	26
27	28 委員会予備日	29 委員会予備日	30 本会議10:00～ (閉会)	本会議をライブ配信します /@OnoCityCouncil		

※日程や会議時間は、予定のため変更になる場合があります。

政治家が配偶者や秘書名義で選挙区内にある者に対して寄付をすることは禁止されています。

令和8年7月第450回定例会 議案の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・承認とした議案

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名
市長提出議案	34 可決	令和8年度大野市一般会計補正予算(第3号)案	市長提出議案	40 可決	除雪車売買契約の締結について
	35 可決	令和8年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)案		41 可決	大野市中学校タブレット端末購入業務契約の締結について
	36 可決	大野市地下水保全条例の一部を改正する条例案		42 承認	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度大野市一般会計補正予算(第10号))
	37 可決	大野市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案		43 承認	専決処分の承認を求めることについて(令和8年度大野市一般会計補正予算(第2号))
	38 可決	大野市営住宅条例の一部を改正する条例案		44 承認	専決処分の承認を求めることについて(大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)
	39 可決	公共施設LED照明導入業務契約の締結について			

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名		議員名(議席番号順)	議決結果	須原	笹山	堀山	猪嶋	岸本	白崎	木戸屋	廣瀬	伊東	山崎	野村	高田	廣田	堀田	梅林	高岡
				祥量	晃一	寿章	清文	一敏	貴之	八代美	浩司	由起恵	利昭	勝人	育昌	憲徳	昭一	厚子	和行
市長提出議案	45	専決処分の承認を求めることについて(大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/	○	○	○

議長(廣田憲徳)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×

中部縦貫自動車道等交通対策 特別委員会 要望活動

中部縦貫自動車道大野油坂道路の一日も早い全線開通を実現するため、5月14日に地元選出国會議員と国土交通省に対して、石山市長にも同行いただき要望活動を行いました。



国土交通省での要望活動

全国市議会議長会 北信越市議会議長会 議員表彰

4月23日の北信越市議会議長会定期総会、5月27日の全国市議会議長会定期総会において、梅林厚子議員が議員在職15年以上表彰、高田育昌議員が議員10年以上表彰をそれぞれ受賞されました。



編集後記

本年執り行われた、大野市長選挙における年代別投票率は、50歳代が66.7%、60歳代が74.96%、70歳代が75.39%と高い傾向にある一方、18歳が38.19%、19歳が23.01%、20歳代が33.76%と低い傾向にあります。この傾向は、前回の市議会議員選挙をはじめ、近年においても同様に見られることから、若年層の投票率向上が課題であると捉え、来年の市議会議員選挙においては、議員自らの努力が必要になると考えております。(座長 山崎利昭)



市議会HP

議会だより編集委員会
座長 山崎利昭
委員 笹山晃一
白崎貴之
梅林厚子

※次回は、10月下旬の発行を予定しています。